

うちどく
「^{うち}家のみんなで^{ほん}本を^よ読む」＝家読

たとえば…

- みんなで同じ本を読んで、感想を話してみる
- それぞれが最近読んだ本の紹介をする
- 絵本の読み聞かせや本の朗読をする

やり方はいろいろです

この本おもしろい！という気持ちを家族でシェアしませんか
本をきっかけに おしゃべりしましょう♪

じぶん なまえ かんが ～ 自分の名前について考える ～

誰もが、「どうして私はこの名前になったんだろう？」と考えたことがあると思います。

つけてもらった名前の由来、まわりの人たちの気持ちを考えるきっかけになるおはなしを紹介します。

家族からもらった大切なプレゼントである、自分の名前について、家族みんなで話してみませんか？

『ぼくのなまえは
へいたろう』灰島 かり // 文
殿内 真帆 // 絵
福音館書店『アルマの^{なまえ}名前がながいわけ』フアナ・マルティネス-ニール // 作
宇野 和美 // 訳
ゴブリン書房

ぼくは、「へいたろう」という名前があまり好きじゃない。名前って変えられるの？外国ではどのように名前を決めるの？色々な名前のひみつを知るきっかけになる1冊です。

アルマの名前は、アルマ・ソフィア・エスパンサ・ホセ・プーラ・カンデラ。名前がこんなに長いのは理由があります。アルマの名前の物語を、パパが教えてくれました。

『はこちゃん』 かの ゆうこ // 文 江頭 路子 // 絵 講談社

はこちゃんの名前を漢字で書くと「葉子」。クラスメイトに「葉っぱの子」とからかわれて落ち込んでしまいます。でも、お母さんから名前の由来を聞いたら、自分の名前がもっと好きになりました。ひとりひとりの名前には、いろんな意味が込められていることを知ることができます。

『しあわせになあれ』 弓削田 健介 // 詩 松成 真理子 // 絵 瑞雲舎

名前は、家族からもらった最初のプレゼント。どんな名前にも、「しあわせになあれ」という願いがこもっています。小学校や中学校で歌われている合唱曲が元になっている絵本です。

『^{かみなり}雷のあとに』 中山 聖子 // 作 岡本 よしろう // 絵 文研出版

自分の「睦子」という名前には、「兄弟、仲睦まじく」というお母さんの思いがこもっているらしい。それではまるで、お兄ちゃんのための名前みたい。お母さんとの関係や、学校での友人関係に悩む睦子は、亡くなったハルおじさんの家に通いますが、お母さんにもう行ってはいけないと言われて……

